

長崎県 障害者

スポーツ協会だより

発行：令和元年 10 月
編集/発行：(一社)長崎県障害者スポーツ協会
〒852-8104 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター

TEL：095-894-9686 FAX：095-849-4703
E-mail：hdcps-sports@mbn.nifty.com
URL <http://nagasakiports.c.ooco.jp>



第27号



第19回 長崎県障害者スポーツ大会 開会式



目次

◆ 会長挨拶	2
◆ 「第19回長崎県障害者スポーツ大会」を開催	3
◆ 「第19回全国障害者スポーツ大会」長崎県選手団紹介	4～5
◆ トピックス	6
◆ スポーツ活動の情報	7～8
◆ 平成30年度長崎県障害者スポーツ協会事業報告及び決算報告	9
◆ 協会事務局からのお知らせ	10～12



長崎県障害者スポーツ協会
会長 土岐 達志

V・ファーレン 試合観戦と 障害者スポーツ

6月29日、V・ファーレン長崎の高田社長様のご厚意で、障害当事者とその家族約900人がFC琉球との「平和祈念マッチ」に無料招待を受け、手に汗握る白熱した試合を観戦させて頂きました。

試合はトランスコスモススタジアム長崎で午後6時にキックオフ、一進一退の攻防の中、少ないチャンスをものにしたV長崎が前半30分に先制ゴールに成功。期待が大きく膨らむ中、続けて2ゴールをあげ3対0としました。特に3点目が入ったときなど、スタジアム全体が興奮のるつぼと化しました。ワンサイドゲームかと思われた矢先、終了間際に2点立て続けに得点されひやひやしましたが、我がV長崎はFC琉球の猛攻をしのぎ3対2で勝利しました。

また、ホームゲームの強みか、ゴールのたびに大歓声があがりました。圧巻は3点目のゴールで、知らない者同士がハイタッチで喜び合い、まさに選手と観客が一体となった瞬間でした。お陰さまで、私たちは観るスポーツの醍醐味を十分堪能させてもらいました。そして多くの皆さんから、V・ファーレン長崎への感謝の言葉がたくさん寄せられました。

その感動が覚めやらぬ8月31日、V・ファーレン長崎の高田社長様より1000名を超える私たちの仲間が東京Vとの試合に再びご招待頂いたのです。

試合は東京Vに先制されたものの、前半27分にゴールを決め追いつきました。そして後半25分にコーナーキックからヘディングが決まり、V・ファーレン長崎が2対1の逆転勝利を収めました。さらにその日は、南高愛隣会・瑞宝太鼓の勇壮な迫力ある太鼓の音がスタジアムに響き渡り、熱い応援とともにV長崎の逆転勝利につながったのではと思っています。1回目はFC琉球戦、そして2回目は東京Vに逆転勝ちと、ご招待頂いた試合全てでV・ファーレン長崎の勝利ゲームを観戦することができ、本当に素晴らしい時間を過ごすことができました。

高田社長様に、紙上をお借りして御礼申し上げますとともに、V・ファーレン長崎の一日も早いJ1復帰を心より祈念して止みません。

さて東京パラリンピック開催まであと一年を切りましたが、パラリンピックは障害者スポーツの振興はもとより、障害者に対する健全者の意識を変えることを目指す絶好のチャンスでもあります。私たちはパラリンピック開催を、障害があることを一つの個性と認める共生社会実現への大きな一歩にしたいと願っています。

県障害者スポーツ協会では、より多くの障害者が自分に合ったスポーツを生涯楽しむことで積極的な社会参加促進が図られるよう、これからも障害者スポーツの一層の普及振興に努めて参ります。



バックスタンドからの声援

V・ファーレン 高田社長と
南高愛隣会 田島理事長
本協会 土岐会長

第19回 長崎県障害者スポーツ大会を開催

「第19回長崎県障害者スポーツ大会」は五月晴れが続く5月26日(日)に「第19回全国障害者スポーツ大会」の選手選考会を兼ね、トランスコスモスタジアム長崎を主会場に約2,000名の役員・選手参加のもと、盛大に開催された。本大会の参加者は下記のとおりだった。



競技会場	競技種目	会場地	参加者数
トランスコスモスタジアム長崎	陸上競技	諫早市	433名
県立総合運動公園補助競技場	フライングディスク	〃	251名
諫早市中央体育館(メイン)	ボッチャ	〃	137名
諫早市中央体育館(サブ)	ユニカール	〃	63名
大村市アーチェリー場	アーチェリー	大村市	7名
県立総合体育館	卓球【含:STT】	長崎市	80名
長崎東公園コミュニティプール	水泳	〃	90名
長崎ラッキーボウル	ボウリング	〃	334名
	合計		1,395名



フライングディスク



陸上競技



ボッチャ



アーチェリー



水泳



ユニカール



ボウリング



卓球

第19回 全国障害者スポーツ大会 長崎県代表選手団決定



「いきいき茨城ゆめ大会」に長崎県選手団を派遣!!



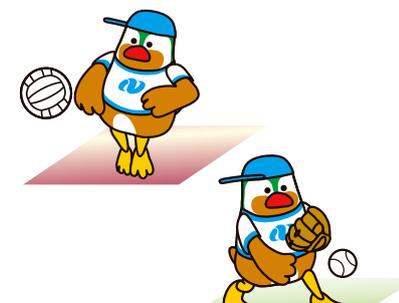
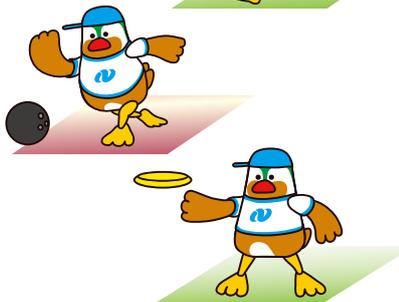
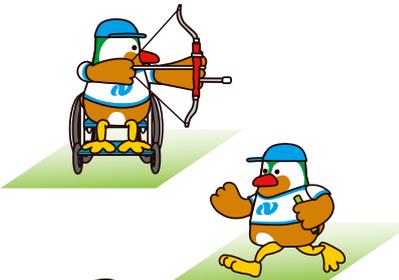
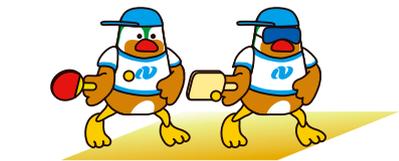
間もなく、10月12日(土)～14日(月)の3日間、「第19回全国障害者スポーツ大会」が茨城県において「いきいき茨城ゆめ大会」として開催される。

本県は個人競技に33名、団体競技に2競技21名の合計54名の選手を派遣する。

個人競技は県障害者スポーツ大会の成績を基に選考し、団体競技は九州ブロック予選会で代表権を獲得した聴覚男子バレーボールと知的ソフトボールチームが出場する。

第19回全国障害者スポーツ大会長崎県代表選手 【54名】

競技種目	選手名	性別	区分	居住地	所属
陸上競技	松川 尊生	男	視覚	時津町	県立盲学校
	宇土 莉奈	女	視覚	島原市	コスモス会 正健
	大石 透	男	聴覚	時津町	ワークショップあさひA
	中村 一孝	男	聴覚	大村市	県立ろう学校
	野副 綾	女	肢体	諫早市	stand firm 就労支援事業所 アストルテ
	木村 勇聖	男	肢体	長崎市	LINE 株式会社
	初村 利己	男	肢体	対馬市	米寿会 対馬老人ホーム
	西山 蓮	男	知的	諫早市	県立希望が丘高等特別支援学校
	松永 裕典	男	知的	佐世保市	県立佐世保特別支援学校
	二股 教史	男	知的	佐世保市	県立佐世保特別支援学校
	藤本幸樹廣	男	知的	西海市	県立鏡南特別支援学校 (西彼分教室)
	打田 聖空	男	知的	島原市	県立島原特別支援学校
	久田 美咲	女	知的	佐世保市	県立佐世保特別支援学校
	山本 清音	女	知的	大村市	JA長崎県央
水泳	原口 幸雄	男	肢体	大村市	諫早水泳学校
	堀江 大紳	男	肢体	長崎市	南山高校
	齋村 友理	女	肢体	長崎市	ララコフ矢上店
アーチェリー	武分 剛	男	知的	諫早市	日本ハム(株) 諫早プラント
卓球	永松 邦彦	男	肢体	佐世保市	佐世保市アーチェリー協会
	赤松 満次	男	聴覚	大村市	養護老人ホーム 湧泉荘
	本多 輝男	男	肢体	島原市	島原市身体障害者福祉協会
	橋口陽菜莉	女	知的	松浦市	県立佐世保特別支援学校 (北松分教室)
フライングディスク	朝永 航	男	知的	佐々町	県立佐世保特別支援学校
	浦田 真雄	男	精神	佐世保市	県立桜が丘特別支援学校
	稲田 実幸	女	精神	新上五島町	いろえんびつの家
	藤原 信吾	男	肢体	諫早市	諫早市身体障害者福祉協会
ボウリング	梶村 公明	男	肢体	平戸市	田平町身体障害者福祉協会
	河内 千佳	女	肢体	五島市	五島市身体障害者福祉協会
	林田 綾子	女	肢体	島原市	島原市身体障害者福祉協会
	今里 耕治	男	知的	諫早市	つくし学園
聴覚バレーボール	齊藤 祐二	男	知的	島原市	ふれあいネットワークピアありあけ
	田中 博	男	知的	南島原市	(社福)ほかにわ共和国
	津田 祐樹	男	知的	長崎市	長崎市
	中尾 政弘	男	聴覚	長崎市	東芝三菱電機産業システム(株)
	長岡 純斉	男	聴覚	大村市	県立ろう学校(教員)
	副島 祥一	男	聴覚	佐世保市	佐世保市役所
	吉田 翔	男	聴覚	長崎市	長崎みなとメディカルセンター
	寺田 元貴	男	聴覚	大村市	SUMCO TECH-XIV(株)
	田中 秀武	男	聴覚	長崎市	長崎電機テクニカ(株)
	工藤 成剛	男	聴覚	大村市	(株)大村湾カントリー倶楽部
榎松 信介	男	聴覚	南島原市	南島原市	
知的ソフトボール	釜元 英寛	男	聴覚	大村市	諫早市立森山中学校(教員)
	田中 匠貴	男	聴覚	長崎市	NSS長崎船舶装備株式会社
	堀内 勇気	男	知的	長崎市	モン・サン ながさき
	森崎 敦	男	知的	大村市	チャレンジ人材センター
	宮浦 漁	男	知的	諫早市	有田工業(株)
	堤 晴男	男	知的	佐世保市	昭和フード(株)
	江川 慶祐	男	知的	東彼杵町	(株)アイコック
	長浦 信広	男	知的	佐世保市	佐世保自立支援センターチャレンジ
	岩永 昭彦	男	知的	諫早市	(有)新光運輸
	真亀 魁斗	男	知的	大村市	(株)明治牛乳マルヨシ諫早市店
山下 翔太	男	知的	川棚町	ハウステンボス(株)	
江戸 裕典	男	知的	大村市	(株)矢敷環境保全	
山口拳太郎	男	知的	長崎市	県立希望が丘高等特別支援学校	



全国障害者スポーツ大会 参加選手の意気込み

第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」は10月12日（土）から14日（月）に茨城県で開催され、本県からは九州地区を代表し聴覚男子のバレーボールと知的ソフトボールの2チームを、個人競技6競技に33名の選手を派遣します。

県内での強化練習会も積極的に取り組んだ競技種目代表に大会参加の意気込みを寄せていただきました。



水泳競技：堀江 大紳【長崎南山高校2年】

僕は、初めて長崎県代表選手に選ばれ、「いきいき茨城ゆめ大会」の水泳競技に出場します。自分は、今まで観戦者として、いろんな人に感動をもらっていました。中学2年生のとき初めて障害者の水泳大会に出場し、今まで観戦者だった自分がこの大会をきっかけに、競技者になりました。

それからの練習は、自分が周りの人に感動を与えられるような競技者になりたいと思いました。「いきいき茨城ゆめ大会」では、他県の競技者と出会える喜びと茨城県の会場で自分なりのパフォーマンスができるよう目標をもってのぞみ自己ベストを更新したいです。

そして、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、「いきいき茨城ゆめ大会」への参加を楽しみ、最後まで諦めず戦い抜いて恩返しがしたいです。応援よろしくをお願いします。



卓球競技：朝永 航【県立佐世保特別支援学校】

僕は、10月12日土曜日から14日月曜日に開催される第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」に長崎県代表として出場することになりました。

今回初めて長崎県代表に選ばれ不安な気持ちもありますが、何よりうれしい気持ちでいっぱいです。長崎県代表に選ばれたからには、最後まで一生懸命頑張りたいと思います。

大会では、緊張すると思いますが、一戦一戦全力で頑張りたいと思います。そして、試合では金メダルをとることができるよう日々の練習を大事にして、一步一步目標に向かって前進していきたいです。そして、今回の全国大会に出場する各県の代表選手の方たちとたくさん交流して刺激をもらい、自分自身の成長につなげていきたいです。一生懸命、長崎県の代表者として頑張ります。応援よろしくをお願いします。



バレーボール競技：田中 匠貴【NSS長崎船舶装備（株）勤務】

5月の九州ブロック予選大会では、これまでの大会に比べて他県チームのレベルも上がっており苦戦しましたが、茨城大会への切符を手に入れることが出来ました。

今年で5回目の全国大会出場です。昨年の福井大会から新しいメンバーが加わり、私のポジションがレフトからライトに変わりました。スパイク、ブロック、サーブ、トス、カバー等 何でもこなすオールラウンダーの役割を担っています。

昨年は初めて決勝戦まで進むことが出来ました。自分たちのプレーが出来ず準優勝という結果で「日本一」を取れなかったことが悔しかったです。今年こそは、九州ブロック代表として「日本一」を取ることが目標です。

私のポジションはライトですが、オールラウンダーとして、また長崎チームらしいバレーボールが出来るよう慌てることなく、落ち着いて試合に臨みたいと思います。



ソフトボール競技：山下 翔太【ハウステンボス（株）勤務】

ソフトボールチームは、2年ぶりに九州大会を制覇し、茨城大会の切符をつかむことが出来ました。一昨年までは、6年連続で全国大会に出場していましたが、昨年九州大会決勝で負けてしまい悔しい気持ちでいっぱいでした。今年は九州大会決勝で昨年負けた福岡県チームに勝つことができ、とても嬉しかったです。

2年ぶりの全国大会出場となりますので、自分たちが持っている力をすべて出し切りたいと思います。また、全国大会を経験したメンバーが多く残っているので今年こそ目標である全国を制覇し、長崎県に優勝カップを持ち帰り、お世話になった皆さんに良い報告ができるようにしたいです。

今年は、長崎県選手団の旗手として選ばれたので、とても緊張しますが、感謝の気持ちを胸に頑張りますので、応援よろしくをお願いします。



2020東京パラリンピックに希望の星

知的障がい者卓球アジアチャンピオンに躍動！

浅野 俊 選手

3年前「第16回全国障害者スポーツ大会」に長与町立高田中学3年生の浅野俊君が長崎県代表として卓球競技知的障害の部に初出場を果たした。

全国的に特別支援学校高等部の強豪選手が集うハイレベルの大会に無欲で挑戦し、4戦全勝の健闘で金メダルを獲得した。

彼の力強いゲーム運びは、東京パラ参加に向けて強化選手育成に取り組む日本知的障がい者卓球連盟が注目する選手となった。

中学卒業時の進路は県高等学校卓球の強豪校である私立瓊浦高校（卓球部）に進学し、「全国インターハイ」に挑戦する3年間の活躍がつづいた。

この間、県障害者スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に関わることなく、インターハイ卓球の世界に情熱をそそいだ彼も高校3年生となり、この夏の全国高校総体が終わろうという時期に再び「日本知的障がい者卓球連盟」が指定する競技会に参加することになった。

その活躍は目覚しく、障害区分での国内トップクラスにランクされる選手となった。

まず、今年6月に開催された第22回パラFIDジャパン・チャンピオンシップ卓球大会の男子シングルス（66名参加）で、日本を代表する強豪をなぎ倒し見事優勝の快挙を成し遂げた。

その結果、7月に台湾で開催された「アジアパラチャンピオンシップ2019」に日本代表として出場権を獲得した。

卓球の強豪地域である「アジアのチャンピオン」は世界的にも注目される選手となるが、なんと、彼はその注目の選手となった。シングルスで優勝、団体では準優勝の快挙を成し遂げたのである。当然、東京パラの日本代表入りは最有力である。

東京オリ・パラ開催まで一年を切ったいま、卓球王国ジャパンの活躍に彼への期待は大きい。さあ、パラリンピック卓球競技を注目しよう、そして、浅野俊選手に声援を送ろう。



赤い羽根「テーマ募金」による活動費助成で活性化

平成31年1月から3月末までに取り組んだ長崎県共同募金会の事業である赤い羽根「テーマ募金」活動では、多くの企業ほか個人有志の方のご協力で、多額の浄財をいただきました。加えて赤い羽根共同募金から加算をいただき、計画を上回る募金額を挙げる事ができました。

早速、4月からの団体競技九州ブロック予選会遠征費、全国障害者スポーツ大会派遣選手団の活動、東京パラリンピックに向けて国内外で活躍する障害者トップアスリートの活動、さらには本協会登録団体の障害者スポーツ活動等振興補助事業の助成金として活用させていただいています。

スポーツ振興補助事業については、ここ数年、各団体の事業補助申請額の70%程度を助成していましたが、この基金を活用することにより、80%近い助成の実績となっています。

来年度の活動資金として、本年度も赤い羽根「テーマ募金」に取り組むので、各活動助成額の確保のために活用団体皆さんの積極的な募金活動への参加をお願いします。



平成 30 年度 スポーツ協会表彰

6月30日(日)令和元年度一般社団法人長崎県障害者スポーツ協会の定期総会に於いて、多くの来賓をお迎えし、平成30年度長崎県スポーツ協会表彰の授与式を執り行った。

受賞された皆様をご紹介します。

特別功労賞：九州ガスホールディングス・
山口 功
功 勞 賞：峰 一志・中尾初男・
沖島理恵子・磯野堂鎮
優秀指導者賞：西田 聡・上村佳史
優秀選手賞：副島正純・山田令也・原口幸雄・
太田歩美・満井亜由美
優秀チーム賞：聴覚バレーボール男子チーム

受賞おめでとうございます



KTN スポーツ振興財団から表彰

令和元年(公財)KTNスポーツ・文化振興財団の表彰が6月21日(金)に長崎市内で行われた。

この賞はスポーツ・文化活動の分野で地域社会に大きく貢献し、国内外の大会で活躍を続け、県民に感動を与えた個人12名・団体5団体の功績を称え贈られた。本協会からは、優秀選手賞に卓球競技(知的障害)の太田歩美【国立長崎大学教育学部附属特別支援学校】に栄賞が授与された。



2020東京パラリンピック開催まであと1年、日本障害者スポーツの各競技団体では選手強化の事業が積極的に取り組まれている。本県関係者も国内外のレベルの高い競技会に参加の要請が有り、主要競技会で活躍している。

なお、昨年度から県の助成事業として、「東京パラリンピック等アスリート特別強化事業」が取り組まれ選手の強化に拍車がかかっている。

対象者は本県在住の、東京パラリンピックや次期デフリンピックに向けて日本代表として出場が期待される選手をJPC加盟団体競技団体が指定する国内外の各種大会に出場するために必要とする遠征等に対して支援される取組みであり、障害者選手の介助として帯同する関係者にも助成する取組みである。

本年度JPC加盟団体から強化指定選手としてエントリーされた本県の関係者は

- ・副島 正純：【陸上競技：車椅子】ソシオ SOEJIMA
- ・城間 圭亮：【陸上競技：車椅子】ソシオ SOEJIMA
- ・浅野 俊：【卓球競技：知的】私立瓊浦高等学校



令和元年度
「スポーツ・レクリエーション教室」を開催しています。

本年度の「障害者スポーツ・レクリエーション教室」を各地で開催しています。既に、五島市、波佐見町、佐々町、田平町などで実施し、それぞれの地域で障害をもつ皆さんが積極的に参加し、元気に楽しく汗を流しています。

この後も、県内各地で開催の申請があり、日程調整のうえ、取り組んでまいります。指導者も、「障害者スポーツ指導者人材バンク」登録の方のご協力により、充実した教室になっています。

開催に係る用具の準備、会場使用料、参加者のスポーツ傷害保険加入、指導者派遣の経費は本協会が負担します。後期に入りますが、まだ申請を済まされていない地区は早急に企画のうえ、本協会にご連絡ください。県内全市町での開催を目標に推進しています。



令和元年度
障がい者スポーツ指導員初級養成講習会を開催します。

例年どおり、障がい者のスポーツ振興と競技力向上に当たる指導者を養成する目的で実施します。

- ◆開催期日：令和元年 12月14日(土)・15日(日)・21日(土)の3日間
- ◆開催会場：長崎市障害福祉センター【もりまちハートセンター】(長崎市茂里町)
- ◆対象者：県内在住で、障がい者スポーツ・レクリエーション活動従事者や、興味のある18歳以上の方(平成31年4月1日現在)
- ◆募集定員：20名
- ◆申込期間：令和元年11月1日(金)から11月20日(水)まで
- ◆申込希望者：(一社)長崎県障害者スポーツ協会へご連絡ください。

※(一社)長崎県障害者スポーツ協会のホームページでも確認できます。

■TEL：095-894-9686 ■FAX：095-849-4703

長崎県障害者スポーツ協会

検索



平成30年度 一般社団法人長崎県障害者スポーツ協会事業報告及び決算報告

事業報告 (令和元年6月30日(日)開催の令和元年度総会で承認されました。)

I. はじめに

本協会の設立目的に沿い、計画各事業の推進に積極的に取り組みました。
さらに、障害者の健康体力の維持増進のためのスポーツ拠点や指導体制を整備し、障害者スポーツのなお一層の普及振興を図ることを目的として、障害者の社会参加推進の要となる諸事業に取り組みました。
「福祉販売」、「テーマ募金」などの事業も積極的に取り組み、組織強化の基盤を目的に推進しました。

II. 総括

1. 会議

- (1) 総会
平成30年6月17日(日)に開催
- (2) 理事会
平成30年6月1日(金)・6月17日(日)・平成31年3月14日(木)に開催
- (3) 正副会長会
平成30年5月18日(金)・平成31年2月28日(木)に開催



III. 実施事業

1. 第18回長崎県障害者スポーツ大会の開催
平成30年5月27日(日) 役員・選手・競技役員・補助員 約2,200名が参加
2. 全国障害者スポーツ大会に長崎選手団強化練習及び派遣事業
平成30年10月13日(土)～15日(月)開催の「福井しあわせ元気大会」に役員・選手106名を派遣した。
【車椅子バスケットのみ先行開催で7日(日)～8日(月)】
3. 障害者スポーツ普及・活性化事業
「長崎がんばらば大会」の成果や機運を一過性のものとせず、今後につなげていくため、スポーツ・レクリエーション教室や競技力向上支援等の取り組みを行った。
 - (1) 障害者スポーツ人材バンク(現在の登録者:89名)
 - (2) 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催(派遣状況:33ヶ所に延べ61名を派遣)
 - (3) 各団体競技チーム等の競技力向上のための支援
4. 障害者スポーツ振興事業
 - (1) 地域スポーツ交流事業(県内16ヶ所で延べ588名が参加)
 - (2) 障害者スポーツ指導員養成事業(12月に長崎市で開催30名が受講)
 - (3) 障害者スポーツに関する調査研究事業(県外で開催の主要会議に出席)
 - (4) 障害者スポーツ活動等支援事業(平成29年度県障害者スポーツ協会表彰実施)
 - (5) 広報・公聴事業(協会だよりの発行、HPの随時更新、報道機関に活動情報提供)
- IV. 物品販売事業の推進(福祉販売:売り上げ活動会員25団体)
- V. 障害者スポーツ活動等振興助成事業(会員37団体が申請した82事業に助成、また全国大会九州ブロック予選会への参加費用及び活動費を団体競技10チームに助成した)
- VI. 赤い羽根募金「テーマ募金」(共同募金会から1,600,000円の助成をいただいた)
- VII. その他の事業(賛助会員の増員):2団体の会員増

決算報告

I. 一般正味財産増減の部 1. 経常増減の部

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

①経常収益				②経常費用					
	当年度	前年度	増減		当年度	前年度	増減		
特定資産運用費	9	8	1	事業費	受託事業	25,627,216	25,494,975	132,241	
受取会費	767,000	744,000	23,000		スポーツ振興事業	2,985,017	2,749,971	235,046	
事業収益	2,543,100	2,056,900	486,200		県大会選手団助成事業	4,242,032	4,468,656	-226,624	
					物品販売事業	2,255,847	1,580,918	674,929	
受取補助金	公共団体補助金	21,424,220	22,033,100	-608,880	法人会計	管理費	8,080,498	7,293,932	786,566
	受託収益	25,627,216	25,494,975	132,241		振興助成金	8,858,572	11,123,000	-2,264,428
	民間助成金	1,670,000	1,935,000	-265,000					
雑収益	197,273	367,575	-170,302						
経常収益計	52,228,818	52,631,558	-402,740	経常収益計	52,049,182	52,711,452	-662,270		
				当期経常増減額	179,636	-79,894	259,530		

協会事務局からのお知らせ

令和元年度 一般社団法人 長崎県障害者スポーツ協会 ～御協力ありがとうございました～

◆ 賛助会員一覧

賛助会員【団体】

株式会社 岩永印刷
東武トップツアー株式会社 長崎支店
名鉄観光サービス株式会社 長崎支店
株式会社 クレイン いずや
日本紙工印刷 株式会社
協和機電工業 株式会社

株式会社 昭和堂
長崎県営バス観光 株式会社
和光スポーツ
株式会社 JTB 長崎支店
株式会社 メモリード
長崎天領ライオンズクラブ

株式会社 クリエイトオフィス
株式会社 ひろたか
和風スナック 篝火
上五島建設 有限会社
株式会社 ライフテック
昭和スポーツ

賛助会員【個人】

植田 勝 征 林 田 綾 子
原 口 留 美 子 大 串 近 太 郎
真 鳥 市 郎 大 賀 義 信
坂 口 美 和 子 桑 宮 直 彦
池 田 陽 子 田 口 た ま み
吉 田 志 保 本 口 綾

鬼塚 富 美 亀 田 信 樹
児 玉 浩 三 郎 宗 田 美 子
野 澤 由 夏 崎 村 俊 策
小 松 誠 一 柳 澤 昌 弘
中 川 美 佐 子 川 村 麗 子
川 原 康 則

奥 野 比 呂 志 松 崎 ヨ シ 子
相 良 満 雄 瀬 戸 あ か り
飛 口 廣 島 安 洋 子
山 祿 三 患 彦 猿 渡 圭
椿 山 和 彦 阿 野 忍

県立桜が丘特別支援学校

久 枝 一 喜 永 吉 秀 行
窄 口 ひ と み 國 本 健 枝
山 下 裕 子 落 合 美 枝
田 添 昌 代 木 下 建 作

伊 藤 明 美 戸 田 恵 美
稲 垣 友 里 福 田 三 德
池 本 洋 一 葛 島 隆 文

甲斐田 奈 保 福 川 智 子
中 村 有 樹 田 中 雄 一
川 口 真 記 子 平 野 隆 昭

県立島原特別支援学校

山 口 勇 寺 坂 淳 子
平 田 達 也 塩 田 清 美
草 野 裕 希 中 尾 蘭
石 橋 拓 也 下 田 実 波
三 根 真 希 子 園 田 友 美
林 千 代 子 釣 船 智 子

吉 田 健 治 池 田 章 洋
小 山 弥 佳 宮 崎 理 香
池 田 久 美 宮 地 康 平
奥 野 智 美 船 越 寿 子
下 藤 雄 佑 一 孝

平 石 ゆ い こ 狩 野 邦 徳
関 愛 里 咲 子 福 島 孝 則
田 浦 加 奈 子 豊 島 育 郎
隈 部 恵 也 天 野 健 二
長 門 祐 紀 植 木 加 奈

県立佐世保特別支援学校

下 津 浦 純 楠 本 剛
船 場 幸 一 貞 松 涼 太
小 森 彩 春 山 口 弘 剛
三 宅 沸 子 吉 永 昭 子
中 村 貴 子 濱 西 大 介
宮 崎 俊 博 吉 野 和 美
福 山 仁 美 一 村 房 美
安 田 都 規 古 川 真 弓
森 川 匡 理 落 水 優 季
前 川 奈 美 佐 々 木 光 洋
中 村 朋 大 石 典 子
川 口 努 み 松 田 智 津
堀 口 妙 き 裕 子 長 谷 川 美 樹
小 柏 田 裕 子 本 多 崎 杏 夏
園 本 る み 子 本 田 中 酒 井 葉 敬
五 反 田 明 日 見 豪 幸 惠 彰
池 永 健 幸 弘 惠 彰
大 重 富 弘 惠 彰
西 岡 哲 男 伊 藤 彰

落 合 博 之 城 下 和 一 郎
前 田 惠 智 吾 駕 屋 成 田 大 美 子
鶴 田 戸 美 樹 金 前 田 み ち 津 子
木 戸 美 栄 子 川 添 健 二
小 野 塚 吉 原 栄 子 川 松 山 方 利 幸
林 村 健 士 郎 指 辻 小 松 井 野 中 上 良 知
豊 阿 野 本 松 永 末 末 吉 宮 森 井 波 福 金 崎 淑 子
阿 野 本 松 永 末 末 吉 宮 森 井 波 福 金 崎 淑 子

村 山 光 岡 本 ひと み
藤 荒 川 皓 基 坂 森 田 信
山 崎 直 美 古 高 久 保 大 愛
川 上 明 子 亀 田 本 英 樹
川 内 松 仁 須 永 岩 朝 石 松 島 住 三 河 松 吉 美 聖 真 衣 明 人 碧
大 立 末 古 上 山 峰 高 太 松 柿 竹 友 文 佳 秀 一 祥 裕 翔 雅 春 奈 美



国立長崎大学教育学部附属特別支援学校

伊東健史 竹下成彦 吉川透 得永美佐子 稲垣和宏 田中昭二
佐藤公彦

県立鶴南特別支援学校

永石哲郎 小川由香 中山大悟 堀山克彦 宮崎智美 吉田治子
中村貴美 原口恭兵 山崎翔矢 山口裕貴 高岡美未 田田康子
日高直美 由良美奈 坂本慶一 八木美穂 岡野裕介 林田彩和
田中達也 田口裕也 林下卓 杉本朱美 草高希元 長河和憲
小川裕明 杉田勝美 齋藤 杉 高木 高木 高木 高木 高木 高木

県立大村特別支援学校

柴田寿恵 森川元 小川浩美 山下真二 安井和子 上田奈緒 美都
田川美佳 川上貴宣 小川浩美 山下真二 安井和子 上田奈緒 美都
近藤英二 柴田千加枝

県立ろう学校

石山雅晴 崎子 坂本志子 井村義昭 平山市正敏 深有堀美 陸碧美 鈴川木勢津子
岩崎由美 桑渡山久米野中 立大濱 義子 平竹兼北 正弥祥子 深有堀美 陸碧美 鈴川木勢津子
深藤崎千尋 川口英恵 橋口尚健 大 義子 平竹兼北 正弥祥子 深有堀美 陸碧美 鈴川木勢津子
川口英恵 橋口尚健 大 義子 平竹兼北 正弥祥子 深有堀美 陸碧美 鈴川木勢津子
久保田昭武 一 義子 平竹兼北 正弥祥子 深有堀美 陸碧美 鈴川木勢津子
橋口尚健 一 義子 平竹兼北 正弥祥子 深有堀美 陸碧美 鈴川木勢津子
今里健一 輔 義子 平竹兼北 正弥祥子 深有堀美 陸碧美 鈴川木勢津子
田中健一 輔 義子 平竹兼北 正弥祥子 深有堀美 陸碧美 鈴川木勢津子
脇山大輔 義子 平竹兼北 正弥祥子 深有堀美 陸碧美 鈴川木勢津子

県立長崎特別支援学校

松田竜司 石本祐子 田川靖子 下山美紀 得永木剛 中内村敦美
峯山信幸 野田成子 馬場久美 山下美欽 得永木剛 中内村敦美
片吉進一 松尾千佐 友山美里 山下美欽 得永木剛 中内村敦美
横尾菜々 古香 佐山美里 山下美欽 得永木剛 中内村敦美
國知幸美 深浦孝 西川龍実 山下美欽 得永木剛 中内村敦美
永田俊太郎 石井行 田浦立 山下美欽 得永木剛 中内村敦美
池山莉央 修 田浦立 山下美欽 得永木剛 中内村敦美
松本香織 修 田浦立 山下美欽 得永木剛 中内村敦美

県立虹の原特別支援学校

池口朗子 石橋真知子 坂川佳世子 一安尚子 伊東功 岩江希代
岩永宗貴 川遠藤雅博 川財恭義 浦大野拓 浦岡琢 江落高本 崎頭合本
金子剛志 川尻藤浩一 杉才木勝晃 坂陶本 佐々木幸 高谷友中 高谷友中
小松原由可 末松田 寺井祥一 田中木 朝野坂 友中 高谷友中
高橋博 津田 寺井祥一 田中木 朝野坂 友中 高谷友中
田刈敏彦 中野 寺井祥一 田中木 朝野坂 友中 高谷友中
中里文彦 中野 寺井祥一 田中木 朝野坂 友中 高谷友中
永野久留美 中野 寺井祥一 田中木 朝野坂 友中 高谷友中
林田尚子 前野 寺井祥一 田中木 朝野坂 友中 高谷友中
前田尚子 前野 寺井祥一 田中木 朝野坂 友中 高谷友中
宮永崎耕二 宮崎美緒子 前野 寺井祥一 田中木 朝野坂 友中 高谷友中
吉岡由美子 吉岡 寺井祥一 田中木 朝野坂 友中 高谷友中

県立希望が丘高等特別支援学校

松尾徳男 野中かおり 宅島秀和 日高山政彦 小原基子 吉岡順子
増山恵美 代村山多江 山口由紀 中村上貴 小西恵明 木方元
小森信夫 吉村さや 綾川恵美 村高正 副松高 林田秀
黒川恵里也 川元輝 古賀美穂 高笠勝 高木良 佐藤秀夫
井手真裕 久保田辰 青 見 葉 勝 早稲田 川 川 秀夫
伊藤裕二 久保田辰 青 見 葉 勝 早稲田 川 川 秀夫

県立諫早特別支援学校

伊藤智廣 太田比呂 古川貴子 和久祐磨 田宮永子 野嶋優志
小笹俊治 西田幸孝 前福山 川千賀 伊福宮 尾尚 田宮永子 野嶋優志
荒木優 池田孝之 山田 池田 山田 池田 山田 池田 山田 池田

◆ 正会員一覧【会員数：77】

障害者スポーツ協力的団体	長崎県体育協会	長崎県障害者卓球協会	
	長崎県社会福祉協議会	長崎県障害者バドミントン協会	
	長崎県特別支援学校長会	長崎県障害者フライングディスク協会	
	長崎県障がい者スポーツ指導者協議会	長崎県身障者アーチェリー協会	
	長崎陸上競技協会	長崎県ろうあバドミントン部	
	長崎県水泳連盟	長崎県車椅子バスケットボール協会	
	長崎県卓球連盟	長崎県車椅子ツインバスケットボール協会	
	長崎県アーチェリー協会	県央障害者自立センター	
	長崎県ユニカール協会	諫早市多良見町障害者スポーツ倶楽部	
	県及び地域障害者団体	長崎県身体障害者福祉協会連合会	上五島つばき
		長崎県知的障がい者福祉協会	長崎ふうせんバレーボール振興委員会
		長崎県手をつなぐ育成会	長崎ペンギンスイミングクラブ
		長崎県視覚障害者協会	諫早ペンギンクラブ
		長崎県ろうあ協会	長崎ロードランナース
長崎県身体障害児者施設協議会		国境の島ソフトボールクラブ	
長崎県精神障害者家族連合会		スペシャルオリンピックス日本・長崎	
長崎県精神障害者団体連合会		JDSチーム（聴覚ソフトボール）	
長崎県腎臓病協議会		NDGVチーム（聴覚女子バレーボール）	
長崎市身体障害者団体連合会		長崎県知的障がい者サッカー連盟	
佐世保市身体障害者団体連合会		障がい者スポーツチーム GENKI	
大村市身体障害者団体連合会		長崎男子デフバレー部（聴覚男子バレーボール）	
諫早市身体障害者福祉協会		長崎県知的障害者バスケットボール協会	
雲仙市身体障害者福祉協会		長崎ソーシャルフットボールクラブ	
五島市身体障害者福祉協会		NPO法人 ふれあいネットワーク・ピア	
西海市身体障害者福祉協会		特定非営利活動法人 若竹の会	
島原市身体障害者福祉協会		デフソフトバレーボールチーム（聴覚ソフトバレーボール）	
松浦市身体障害者福祉協会		全九州障害者ゴルフ倶楽部協会	
杵岐市身体障害者福祉協会		特定非営利活動法人 元気っ子クラブ 希	
平戸市身体障害者福祉協会		がんばらんば長崎	
対馬市身体障害者福祉協会連合会		長崎サンライズ	
南島原市身体障害者福祉協会		チーム愛・長崎（卓球）	
生月町身体障害者福祉協会		長崎Ladybirds（グラウンドソフトボール）	
田平町身体障害者福祉協会		九州障害者ゴルフ連盟 長崎支部	
佐々町身体障害者福祉協会		SEA WEST バスケットクラブ	
時津町身体障害者福祉協会			
長与町身体障害者福祉協会			
東彼杵郡身体障害者団体連合会			
波佐見町身体障害者福祉協会			
東彼杵町身体障害者福祉協会			
川棚町身体障害者福祉協会			
新上五島町身体障害者福祉協会			
大島村身体障害者福祉協会			
長与町障害者団体連絡協議会			

●●● 協会会員募集 ●●●

一般社団法人長崎県障害者スポーツ協会は、スポーツ活動を通じて障がい者の自立と社会参加の促進に寄与するため、様々な活動に取り組んでいます。

協会の運営と主たる事業の実施については、主に県、市、町の補助金と委託金によって賄われていますが、障がい者のスポーツ振興を図っていくためには、さらに協会独自の事業、対応も必要であり、こうした取り組みには賛助会員皆様からの会費収入などの自主財源が必要です。

本県障がい者スポーツ振興のために、より多くの団体、個人の方のご理解とご支援を頂きたくよろしくお願ひ申し上げます。

■ 賛助会員

- ・ 賛助団体
1口 5,000 円以上
- ・ 賛助個人
1口 1,000 円以上

■ 正会員

- ・ 障害者団体
1口 5,000 円の2口以上
- ・ スポーツ競技団体
1口 5,000 円以上
- ・ その他の団体
1口 5,000 円以上

入会方法にはついては、協会事務局にお問合せ下さい。

TEL : 095 - 894 - 9686

編集後記

東京パラリンピック 2020 開催まであと1年を迎えた。障害者のスポーツを通して障害の理解と心のバリアフリーを学ぼうという体験学習が、県内各地の小中学校で取組まれている。学校からの要請を受け、パラスポーツの用器具を持参し、障害者スポーツ指導者人材バンクの登録員の実践活動で実施している。東京に集う世界各国の選手に接する機会は少ないものの、テレビ観戦等で障害者アスリートの頑張りに力強い声援を送ろう。(K)



このパンフレットは、赤い羽根共同募金の助成金により作成されたものです。

